

日本の高校生と台湾の大学生との英語でのオンライン討論会に参加しました

5月27日(金)に「日本の高校生と台湾の大学生との英語でのオンライン討論会」が行われ、本校から代表として3年生3名が参加し、2年生7名もオブザーバーとして参加しました。討論会には日本各地から10校の高校が参加し、台湾の大学生10名と台湾の大学の先生4名にアドバイスをいただきながらディスカッションを進めました。今回は「18歳成人 Sweet 18?」というテーマで、「成人」年齢が引き下げられることでどのような変化がもたらされるのかという



ことについて、事前に大学の先生からの英語での講義を視聴し、自分たちで討論の準備を進め、討論会に臨みました。

討論会は4グループに分かれ、本校は熊本高校・香里ヌヴェール学院中学校高等学校と同じグループで、「Are you excited to be an adult?」「What do you want to do first when you turn 18?」「Do you agree the government lowered

the legal age of adulthood to 18?」といった内容について意見交換を英語で行いました。

参加した生徒からは、「その場で考えて話すことは自信がなくて、ずっと不安だったが、いざという状況になると、自然と話すことができ、いい経験になった」「ほかの日本人高校生が英語を話しているのを聞いてとても奮い立たせられました」「ある程度、質問の予想はしていたけれども、ほぼその場で考えて答えたので、自分の話す力の確認と強化ができたと思う」という感想が聞かれました。18歳で成人となる



ことについて、同じ年代の高校生が同じような不安を抱いていることを共有できた反面、異なる文化で生活している大学生や先生方からは、「恐れずに、準備をすればいい」と励ましの言葉も聞かれ、参加した生徒たちにとって、自分の考えを深めるとともに自信を持ついい機会となりました。